小73　鹿児島市立皇徳寺小学校
令和7年8月21日

令和7年度　学校評価　自己評価書（前期）

1　学校の教育課題

○学ぶ喜びを知り，確かな学力を身に付けさせるために　　○思いやりの心と自立・自制の心を身につけさせるために
○心身ともに健康でたくましい子供を育成するために　　○学校力の向上

2　課題と改善策

評価の目安：　4＝おおよそ80％以上達成　　3＝おおよそ50～79％達成　　2＝おおよそ25～49％達成　　1＝おおよそ24％以下達成

			評価項目・観点	前期	成果・課題・改善策等
重点指導項目	かしこく	教師の姿	①　目標を明確にし，まとめの充実した分かる授業・学力をつける授業，学力の定着に向けた授業改善（全教員による一人一授業）。 ・　対話的な学びの研究推進，深い学びの場面設定，ICT機器の活用，単元テスト等の無答回答0・100点返却，質と量にこだわる読書指導	2.9	①日々余裕がないところだが，児童に楽しく充実した授業を行えるように，教師自身も努力・工夫をして授業に臨みたい。児童に指導をする前に，まずは自身を振り返る気持ちを持つようにしたい。 ③授業の開始時間をしっかり守れるように教師・児童ともに意識すべきであると思う。遅れてくることが平気になったり，間に合わせようと努力する様子が見られなかったりする。時刻を守ることは社会の最低限のルールであることを教えたい。 ④字をもっと丁寧に書くように指導する必要がある。
			②　子ども一人一人の実態に応じた指導の充実を図る。 ・　支援員等による支援体制の強化，計画的な支援と情報の共有	2.8	
			③　基本的学習習慣を徹底する。 ・「3構え」の徹底，「学習の約束事」の徹底，家庭学習の充実	3.2	
		児童の姿	④　話をよく聴き，学んだことをノートに整理するなどして，1学期の学力を身に付けることができたか。	3.1	
			⑤　前日に学習用具をそろえるなど，学習の準備をしっかり行い，学習のきまりを身に付けることができたか。	3.0	
			⑥　メディア（テレビ，ゲーム）を使用する時間の約束を守って，家庭生活を整え，毎日，家庭学習を行っていたか。	2.6	
	やさしく	教師の姿	⑦　学校生活での基本的生活習慣の確立を図る。 ・　きもちのよい挨拶，「はい」の返事，節度ある生活，作業終了後の後始末の見届け，静かな廊下歩行と校内での正しい過ごし方	3.0	⑦教師もあいさつやコミュニケーションを大切にし，その姿を児童にたくさん見せられるようにしていきたい。 ⑧子供が叱られるような状況になったら、教師自身の手立てや関わりを振り返り，教師が改善に努めることを大切にしたい。 ⑨6年部の先生と児童が，朝から積極的にボランティア活動に取り組んでくれている。協力できるときはそれぞれ他の職員も協力できたらと思う。
			⑧　授業を要とした道徳教育・人権教育の充実を図る。 ・　いじめや差別・問題行動・不登校の防止，生命尊重・思いやりの育成，図書コーナーの充実，教育相談・アンケート等取組，関係団体との連携	3.1	
			⑨　ボランティア活動の充実を通して，自主的，実践的な態度を育てる。 ・　「気づき，考え，実行する」，清掃活動推進（運動場，学級園等）	2.6	
		児童の姿	⑩　気持ちのよいあいさつや返事ができ，丁寧な言葉遣いが身に付いているか。	2.8	⑩あいさつ，返事の徹底については再度全体で見直したり，学年に応じた対策を話し合ったりする。⑩あいさつや返事については個人差がある。それに加えて，何か相手に渡すときの「お願いします。」や、してもらった時に「ありがとうございます。」等言わず，無言な児童が多いのが気になる。あいさつ，返事に加えて基本的なコミュニケーション能力を育ててあげたい。全校で統一し日々声を掛けていきたい。
			⑪　自分の命を守るための手立てを理解して行動したり，他の命も大切にする心をもって，思いやりの態度で人に接したりすることができているか。	2.9	
			⑫　読書やボランティア・お手伝いなどの社会体験を通して，学年相応の豊かな心が育っているか。	3.1	
	たくましく	教師の姿	⑬　教科体育の充実と体力つくりの生活化に努める。 ・　実態把握，遊具の活用，ショトング，縄跳び，体つくり運動（補助運動）	2.8	⑭物やごみ（ちり紙やマスクなど）が落ちていても，気にせず通りすぎる子が多く，落とし物が多い原因にもつながっているように感じられる。教室内から整理整頓を意識付けたい。 ⑭授業が始まる前に，教室内の整理整頓を確認し，ゴミや落とし物を拾ってきれいな教室で授業を始めるように教師が呼びかける必要がある。散らかっていても平気になりつつある。
			⑭　保健指導の充実を図り，健康で衛生的な生活を送れるようにする。 ・　大きなけが・病気の予防指導，疾病治療の促進(家庭への連絡)，容儀指導の徹底，美しい姿勢，衛生的･美的環境の整備	3.0	
			⑮　校内及び校区での安全・安心な学校づくりを展開する。 ・　安全指導の徹底，危険予知能力育成，安全点検の定期実施と修繕，歩いて登校の推進	3.2	
		児童の姿	⑯　外遊びやスポーツを通して積極的に体力つくりに取り組んでいるか。	2.8	⑯暑さが厳しくなってきてから、体育の学習で走る活動を減らしてきている。体力の低下も懸念される。長縄の練習も中断している。⑱朝食を聞くと，パン1枚，うどんのみといった栄養バランスのとれていない食事をして登校してきている。共働きが多く大変だとは思うが，パン1枚食べても給食までもたない。家庭への啓発が必要だと思う。⑱ハチツボネを完全に実施できなかったので，ほかの学級ではどのような取り組み方をしているのか、ぜひ参考にさせていただきたい。
			⑰　健康診断結果を活かして治療したり，手洗い・うがい等を実践し，その他の病気予防をしたり，健康に気を付けているか。	2.9	
			⑱　「早寝・早起き・朝ごはん」や「ハチツボネ」などにより，身なりや生活リズムを整えようとしているか。	2.9	
教務	教課		⑲教育課程に即して各教科・領域等の指導計画は完全に実施できたか。	3.7	⑲教育課程編成の時期に考えることかもしれないが教材研究の時間をとれたらよいと思う。4月は1日，6月は2日しかないので授業の質を上げることが難しい。年度途中であっても行事や取り組みの精選，削減をもっと進め，授業を準備する時間を勤務時間内に確保できるようにしたい。 ⑲令和8年度の集団宿泊学習は、1泊2日で良いのではないか。 ⑲授業参観前日は準備の時間としてあけてほしい。
	研修		⑳　テーマ研修に課題意識を持って意欲的に取り組み，日々子どもの指導に生かすことに努めたか。	2.8	
	人権		㉑　人権教育に対する認識を深め，偏見や差別を見抜く，豊かな感性や思考力を育てることに努めたか。	3.2	
	特支		㉒　一人一人の教育的ニーズを理解し，合理的な配慮をもとにして全教職員で指導する校内支援体制で臨むことに努めたか。	3.1	
	情報		㉓　情報セキュリティに気を付け，個人情報保護や著作権保護・危険性についての指導をしながら情報機器等を活用することに努めたか。	3.1	
生徒指導	生活指導		㉔　生活指導に関し，職員間の情報交換や緊密な連携，迅速で効果的な対応・継続的な指導に努めたか。（共通実践事項の徹底）	3.3	㉗調理クラブにアレルギーのある児童がおり，調理の前に気付き慌ててしまった。調理・手芸クラブにアレルギー児童がいる場合は，事前に確認が必要だと思った。 ㉘児童の活字離れを懸念している。電子図書を読んでいるが，漫画のことが多い。図書室の本にしても同じくである。文章を読む機会をもっと増やす手立てがあればと思うが，同時に難しいだろうとも思う。
			㉕　いじめが起きにくい・許さない環境づくりに心がけ，早期発見・迅速な対応・個人面談やアンケート等を通した実態把握に努めたか。	3.1	
	教相		㉖　子どもとの語らいや遊び，日記，普段の観察を通して個を深く理解し，個に応じた教育相談や適切な指導に努めたか。	3.2	
	特活		㉗　学活や児童会，各行事などの取組にあたりその目的や特色を踏まえ，子どもが所属感を深め，主体的な実践ができるように適切な支援に努めたか。	3.1	
	読指		㉘　読書生活の向上を図る指導や適切な図書館利用を通して，子どもの意欲・関心を高め，心豊かな子どもを育てられるように努めたか。	3.2	
保健	給食		㉙　身だしなみや衛生，食事のマナー，歯みがき等を指導し，望ましい食事のあり方を身に付け，偏食の指導に努めたか。	3.1	㉙アレルギー児童への対応を教頭先生をはじめ様々な先生方に協力を頂き感謝している。㉙月曜日にしわくちゃの給食着を着ている児童がいる。洗濯をし，清潔な状態か気を付けて見てほしい。㉙給食指導の難しさが年々増している。食べられることに感謝する気持ちだけは持ち合わせて欲しい。㉚階段の掃除が行き届いていないところが多い。
	環境		㉚　ごみ・節水・節電・リサイクルなどの環境に優しい活動に取り組んだり，子どもとの協働や巡回指導を通し，清掃指導の徹底に努めてきたか。	3.2	
家庭連携			㉛　保護者の十分な理解や協力を得るための具体的な手立て（学校だより，週報，HP，安心メール等）を講じ，相互に連携して指導を進めることができていたか。	3.1	
その他			㉜【服務規律，保幼小中連携，学校支援ボランティア等】 【服務について】・個人情報の取り扱いや交通安全など，意識的に取り組むことができた。・服務規律を遵守できた。・教育公務員としての自覚を持ちたい。連携を心掛けたい。 【小中連携・幼保小連携】・小中連携研修会で，3校での共通実践事項の確認ができた。・小中連携研修会で話し合われた内容については，学年末に反省をまとめるので，意識して取り組んでおきたい。・三校合同研修会は，全体会も大事だとは思うが，分科会の時間がもう少しほしい。 【学校支援について】・4月の集団下校の際に，ボランティアが決められていなかったり，入っているボランティアの方が来られなかったりした。（1年）コーディネータからも連絡なし。・水泳学習の時には，ボランティアの方がいてくださって助かっている。・水泳学習の見守りでは、保護者の方が鼻血を出した子や見学の子の世話をしていただいたので、助かった。・水泳学習では，学校支援ボランティアの方々に見守り支援をしていただきありがたかった。 【その他】・6時間目から音楽室を吹奏楽部が利用しているため，音楽室を利用しにくい状況だ。吹奏楽部が使う部屋なので学校行事を変更してもら		

3　次学期に向けての取組

・授業の受け方（話の聞き方，発表の仕方，机上整理等）について，２学期の最初に再度指導し，学習への取り組みを充実させる。
・学力の向上のために，「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
・授業の開始時間を教師・児童共に意識して，しっかり守れるようにする。
・気持ちの良いあいさつや「お願いします」，「ありがとうございます」等の基本的なコミュニケーション能力を高めていけるように学校全体で育てていく。
・相手の気持ちを考えて行動できる児童を育てていけるように道徳及び学校生活全体で指導していく。